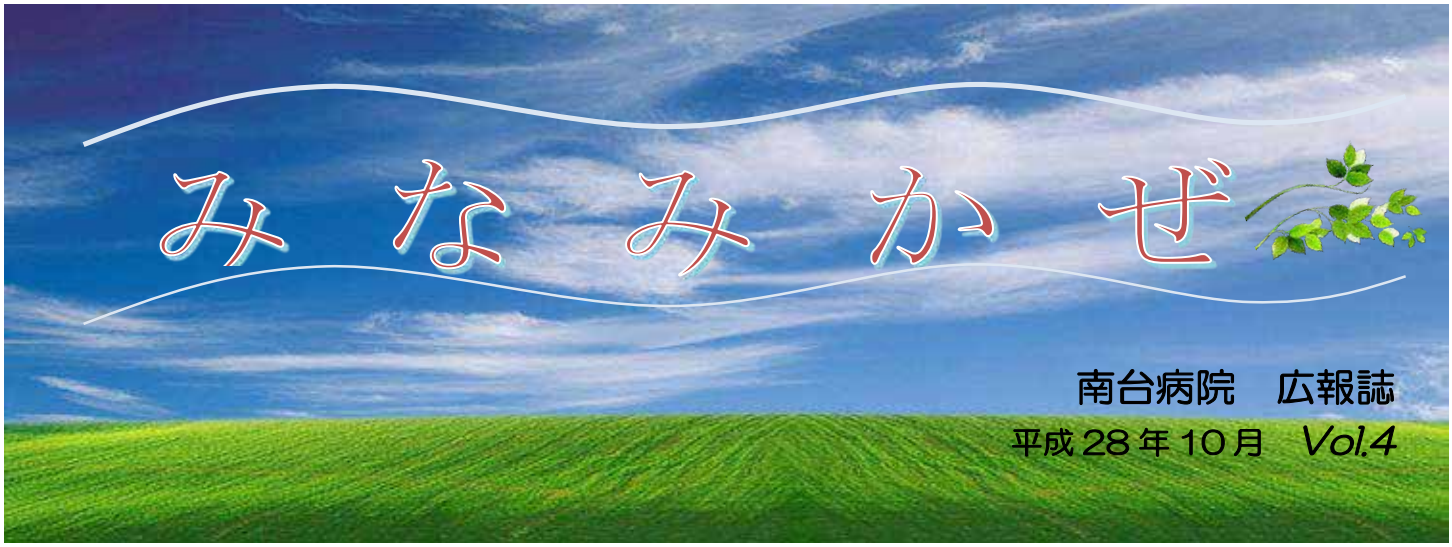

胃がんリスク検診（ABC 検診）

を、ご存じですか？

胃がんにはピロリ菌が深く関わっています。また、ピロリ菌感染によって胃粘膜の萎縮（胃粘膜が薄くなる状態）が進むほど、胃がんが発生しやすくなります。胃粘膜の萎縮の程度は、ペプシノゲンという酵素を測定することでわかります。

胃がんリスク検診（ABC 検診）とは、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度（血清ペプシノゲン値）を測定し、胃がんになりやすいかどうかを調べる検査法です。そして、そのリスクに応じて胃内視鏡検査を受けて頂くことで、胃がんの早期発見・早期治療につながります。検査は、血液検査だけなので、人間ドックや企業検診などと同時に行うこともできます。

胃がんリスク検診は、がんそのものを見つける検査ではありません。胃がんになるリスクを判断し、危険性のある方には精密検査（内視鏡検査）を受けて頂くためのものです。胃がんのリスクに応じた内視鏡検査を将来も継続していくことが大切です。

ABC 分類	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌	－	＋	＋	－
ペプシノゲン値	－	－	＋	＋
胃がんの危険度	低			高
年間の胃がん発生頻度	ほぼゼロ	1000 人に 1 人	500 人に 1 人	80 人に 1 人
2 次精密検査（頻度）	不要	必要（3年毎）	必要（2年毎）	必要（毎年）

麻しんに注意しましょう！

全国各地で*麻しん*の感染報告が相次いでいます。最近、立川市でも報告例がありました。
みなさんは、ご自身が「*麻しん*にかかったことがあるか」「予防接種を受けたか」ご承知でしょうか？
母子手帳などで確認できる方は確認をしてみてください。

*麻しん*は感染力の非常に強い病気です。ご自身が感染しない、かかった時は周囲の人に感染させないことが大切です。もし、かかったことがあるのか、予防接種を受けているのか不明でしたら、当院で抗体検査が行えます。
*麻しん*だけではなく、はやり病と言われる*「風疹」「水ぼうそう」「おたふくかぜ」*についても抗体検査を実施しています。

これらの病気は、妊娠中に感染すると胎児に影響する場合があります。これから、結婚や妊娠を控えている方やその周囲のご家族で、ご心配な方はぜひ抗体検査を受けていただくことをお勧めします。
ご不明な点は当院までご相談ください。

「無料健康なんでも相談」のご案内

日　時：第５週を除く水曜日、午後３時～3 時 30 分
場　所：南台病院　外来診察室
※事前の予約は不要ですので、受付窓口又は外来看護師まで、お気軽に声をお掛け下さい。

実施日	担　当	実施日	担　当
１０月　５日(水)	勝見副院長	１０月１２日(水)	健康診断担当保健師
１０月１９日(水)	外来看護師	１０月２６日(水)	理学療法士

当院では毎週土曜日の午前・午後とも外来診療を行っております。ご利用下さい。

診療受付時間（月曜日～土曜日）　午前：８時 30 分 ～ 11 時 30 分　　午後：１時 ～ ４時

社会福祉法人黎明会　**南台病院**　　〒187-0032　東京都小平市小川町１－４８５
電話番号：042-341-7111（代）　　ホームページ：http://minamidaihp.jp/